

ともに生きる

北海道の労働と福祉を考える会 会報第 31 号



3月7日 炊き出し報告

今回の炊き出しは、札幌市民ホールにて札幌司法書士会との共催で行いました。運営には 30 人ほどが集まり、皆さん手慣れた感じで仕事をさせていただき、時間通りに開催することができました。厳寒の中、炊き出しに訪れた方は 33 人でした。例年より人数が少なめでしたが、前週の夜回りで、ホームレスの方々に告知するピラを配布できなかったこと、また 3 月初週だったので生保受給者が少なかったことが要因かと思われま

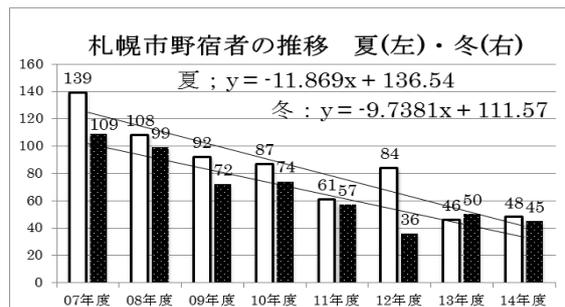
す。食事の提供以外には、前回と同様、散髪、衣料配布、今回は、法律クイズや相談も行いました。合間の時間には、炊き出し初参加者がホームレスの方々と話しができ、いつもの夜回りの時より長い時間話すことができよかったですと思いました。全体としては、大きなトラブルもなく運営することができましたが、炊き出しがやや形式化しているのではないかと思います。もう一步踏み込んで「ホームレス」問題を考えるための勉強会を行い、ホームレスの方々とより長い対話の機会を設け、話をよく聞き、信頼を得ていくことが大切だと思いました。事前の打ち合わせが不十分な中、ご協力いただいた皆様、散髪をしていただいた及川さん、事前準備をほとんど行ってくくださった司法書士会の皆様に御礼申し上げます。今回参加されなかった皆様、次回の炊き出しには参加していただければと思っています。(関本幸一)

冬の人数調査

2015 年 1 月 18 日に毎年恒例の冬の人数調査を行いました。今年も例年通り札幌市からの業務委託を受けたため札幌市役所（集合場所）を起点とし、A.M.3:30 よりスタートして市内全域を調査して回った次第です。当日は風がごうごうと吹きすさぶあいにくの天気で、路上生活者の数は普段より大きく減少するのではないかと懸念されたものの、45 名という一定の傾向にそった調査結果となりました。

今回、これまでと違う点がふたつありました。ひとつは、これまでに調査を行っていた範囲を見直し、より網羅的にカウントして回ることを心がけたことです。これまで 1 班に任せていた区画を二つに割り、網の目の細かい行路を組んだのです。さらに、これまでの反省から駅のシャッターが開く時間帯にもカウントができるように、郊外の主要な駅を回るグループは A.M.4:30 からのスタートにしました。二点目は、調査参加者がとても多くなったことです。Facebook、友の伝等々がうまく機能し、42 名ほども集まりました。これにより必要人員の増えるコース変更も当初の予定通り行うことができ、効果的な人数調査が可能となりました。また、そのほとんどが初参加者であることからホームレスに関する問題について意識化することができたように思います。参加者だけでなく調査以降も波及効果から問い合わせがあり、人数調査が本来の目的に加えて労福会にプラスに働いていることは喜ばしいことでした。

細かな分析として 2012 年度を除けば、夏・冬ともに厳密な意味での単純な減少傾向にあることが半ば事実として考察されます。そしてこれらの減少率はある程度一定の割合に近似されると言えます。グラフにも示したように、毎年 10 名程度の減少ですが、その 10 名の行方については改めて考えてみるべきでしょう。(小山田伸明)



新 規 会 員

よしも

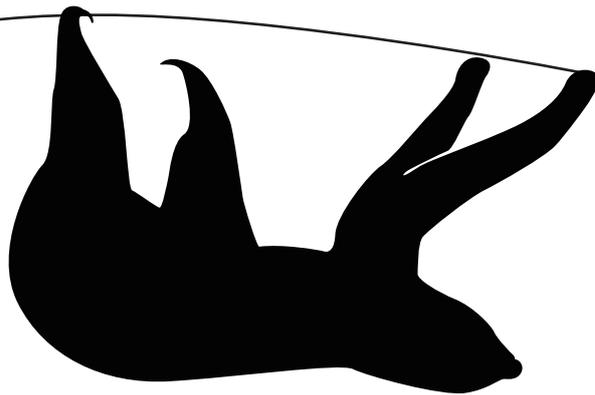
労福会では、夜回りや炊き出し、コミュニティハウスの見学などを通して、路上生活を送る方や彼らをサポートする方と実際に関わる機会を頂きました。これらの活動から、こんなにも身近に路上生活を送る方がいて、様々な生活背景や思いを抱えながら生きていること、また彼らをサポートする方の関わりを、一部ではありますが知ることができました。私は以前よりも、身近な社会問題に関心を持つようになり、明確な答えは出ませんが、その人らしく生きることはどういうことかを考えるようになりました。これは、労福会の活動に参加したからこそその変化であり、学生の中に本当に貴重な体験をできたと思っています。(吉田知代)

せっきー

はじめは、労福会がただホームレス支援をしている団体だとしか思っていませんでした。しかし、実際に活動してみると、私生活では考えることがないことを考えることがたくさんあります。そんな興味深いことを考える機会をくれる労福会は、私にとってはとても魅力的です。(関本幸一)

ひらいわっち

本当にちょっとしたきっかけで、労福会の活動に参加し、初日には会への正式な入会を決めた。路上生活者への支援の在り方、路上生活の捉え方、労福会のような支援団体が抱える矛盾、貧困問題の表出化、ルールから一度外れると人生の建て直しが困難な日本という国の社会システムなど、考えるべき事柄は山積しており頭が痛い。だが、向き合い続ける価値と責任がある。これは一部の人間の問題ではなく、「日本人」の問題である。(平岩秋空)





紹



いけぼちゃ

労福会の活動に参加すること四ヶ月半。最初は想像もできなかった路上生活でしたが、やっと身近に感じられるようになってきました。夜回りで見えてきた路上生活の実態、人数調査で少しでも体感したその辛さ。「知らないと見えないこと」、そして「見えないと感じられないこと」とはあるものだな、と思います。先輩方のご指導のもと、楽しく学ぶことができました。まだまだ分からないことばかりですが、今後も参加を続ける中で自分なりに支援について考えてゆきたいです。(池百代)

あべちゃん

私は、あるきっかけで労福会の夜回り活動の存在を知り、夜回りに参加したのがきっかけでした。夜回りを通じて様々な路上生活者の方と話してみたり、労福会のメンバーの方にお話を聞いたりする中で、この活動は社会における様々なことを考える機会になっています。(阿部汐紗)

たいらたん

新聞社に務め、事件を担当しています。印象に残った事件は、再び服役しようとした元受刑者が窃盗などの罪を繰り返す再犯です。貧困などが原因で生活に苦しみ、自ら服役することを願うことから、一部の捜査関係者からは「志願兵」と呼ばれています。何故、そこまで追い詰められてしまったのかと疑問に感じ、2年前に志願兵の支援をしたという労福会の活動に参加しました。労福会を通じて様々なことを学び、取材に生かしたいと考えています。(平良孝陽)

NO NEWS IS GOOD NEWS.....

ばっしー (小林直史)

よっしー (吉永なつみ)



寄付の御礼

私たち労福会に限らないことですが、多くのボランティア団体は活動の趣旨に賛同してくださる方々に支えられて運営しております。特に「貧困問題」などを扱っている、それ自身が論争的なテーマだったりするので、私たちの活動に賛同してくださる方の存在はとて大きなものです。

この度、城戸佳織さま、鶴間明さま、小山邦子さま、日本キリスト教会札幌北一条教会さまから過分なるご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。記事として感謝申し上げます。

労福会の活動はホームレス支援という性格上、収益のある企画を考えることがなかなか難しく、活動資金の確



笑顔の山内太郎代表 = エルプラザにて。

保にいつも頭を悩ませているのが現状です。夜回りで配布する缶コーヒーやカットの費用、生活保護同伴やフォロアアップ活動にかかるとなると、交通費など一つひとつの金額は小さいのですが、活動を続けていくと年間ではそれなりのお金が必要となります。炊き出しの回数を増やしたり新しい企画を考えたりということもしたいのですが、先立つものを考えなければなりません。そのため

には会費や補助金とともに皆さまからいただける寄付金がとても重要となります。もちろん寄付金をいただくためには皆さまの賛同をいただけるような活動を続けていくことが第一だと考えています。

これからも労福会の応援をよろしく願っています。(山内太郎)

2015年(平成27年)

2月28日

土曜日

ともには生きる

なんで、私が労福に!?

北海道大学農学部 K.S

岡谷学院
進化させるトラブル教育
090-7515-8393

発行所 北海道の労働と福祉を考える会

〒001-0088 札幌市北区北8条西3丁目2番8号
エルプラザ2階市民活動サポートセンターブースNo.11

定価 年2回刊 年5000円
郵便振替口座 北海道の労働と福祉を考える会
02730-0-37163

炊き出し・人数調査

3月7日 炊き出し報告(関本幸一)

冬の人数調査(小山田伸明)

1面

新規会員の紹介

よしもと/せっきー/ひらいわっち/いけぼちゃん
あべちゃん/たいらたん等

2.3面

寄付の御礼・編集後記

寄付の御礼(山内太郎代表) 編集後記

4面

編集後記

そういえば2月中に発行の予定だったと思いついて、あわてて製作を始めた。年度末に関わるいろいろのもろもろでみな忙しいこともあり、4頁構成とした。内容は最小限だ。使う紙も減って環境のためにもなるし、3月には総会資料も印刷するので、ガッツリ書くのはそっちのほうでいい。▼そういった事情から、小山田君は人数調査について綿密な分析をまとめてくれたのだが、大半を削ることになってしまった。申し訳ない。この場を借りてお詫びする。▼ともあれなんとか完成である。内容は薄いけど、なかなか読ませるものに仕上がったと自負している。なにについても、あまりぎっしり話題が詰まっていると読む気にならないものだ。(小川遼・波田地利子)

求人

募集:事務局長(学生、社会人可)
年齢:不問
経験:あれば優遇
時間:24時間/日
給与:無し
休日:無し
勤務地:札幌市内、出張あり

女性も活躍中の職場です!
明るく働きやすい雰囲気です!

問い合わせ先:労福会

世界思想社

女性ホームレスとして生きる
— 貧困と排除の社会学 —

丸山 里美

立命館大学産業社会学部

路上に留まる彼女たちの意思とは...?



天気

	6	9	12	15	18	21 (時)	
大通							6°C
札幌							2°C
狸小路							9°C

ワンポイントアドバイス とても良い夜回り日和です。